

1. 国道188号 柳井・平生バイパス

長年の課題と取組

国道188号柳井・平生バイパスの計画区間内には、救急医療機関であり災害拠点病院にも指定されている周東総合病院のほか、柳井地区広域消防本部、県立柳井商工高等学校など、市民生活に密接に関係する施設が多数立地しています。

しかし、朝の交通混雑や歩道未整備区間の存在、また、事故や災害による通行規制の際には大幅な迂回が必要となるなど、大きな影響が生じることが課題となっていました。

これらの地域課題を解決するため、令和2年度から国道188号柳井・平生バイパスの整備事業が始まりました。



▲国道188号 朝の混雑状況(周東総合病院前)

進捗状況とこれから

令和2年9月に国土交通省が土地所有者や地域住民向けに事業説明会(現地調査のお願い等)を開催しました。

今後は、土地所有者等から個別に同意を得ながら、測量・地質等調査に着手する予定です。

柳井市では引き続き、国・県・平生町などと連携し、早期完成を目指していきます。



▲今年9月に開催した住民向け説明会の様子

期待される効果

- 交通安全の確保
- 観光振興の促進
- 交通の円滑化
- 災害等に強い信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 救急医療機関への速達性・確実性の確保
- 産業振興を支援するネットワークの強化



▲上空から見た柳井・平生バイパスの予定ルート

地域を結ぶ国道188号などの幹線道路は、日常生活や企業活動に必要な物流や周辺市町との交流による地域の活性化など様々な役割を担っています。

また、大規模災害等の発生時には救急患者を搬送し救援物資を届ける「命の道」として機能を発揮するなど、わたしたちが安全で安心して暮らす上で、幹線道路の整備は欠かせないものです。

今号では、現在柳井市内で整備が進む2つの幹線道路を紹介します。

●問い合わせ

都市計画・建築課 ☎2111 内線 231



